

主催：医療の質・安全学会ネットワーク委員会 後援：ニプロ(株)

第34回 医療安全管理者ネットワーク会議 in 盛岡

行こう冬の東北

クールな頭、ホットなハートで患者安全を語ろう！

施設の外から得られる情報を活用して安全確保を図る ～施設外情報の活用のための具体的な仕組みづくり～

医療の質・安全学会ネットワーク委員会では、全国の医療安全管理者等、医療安全管理に携わる多職種の方々に参加いただき、“医療安全管理者ネットワーク会議”を開催しています。

第34回は盛岡で開催することとしました。患者安全のために冬の東北に結集しましょう。

現在、日本医療機能評価機構や PMDA、日本医療安全調査機構等から、医療安全に関する多くの情報が提供されています。それにも拘らず、これらの情報が有効に活用されず、類似・再発事故が発生しています。昨年の当会議におけるワークショップで、こうした施設外から得られる情報を現場に活かすためには、組織における“仕組み”が必要だということが明らかになってきました。

今回は、第一部の講演会で、医療安全に関する情報とその活用について 3 人の先生にお話しいただきます。続く第二部のワークショップでは、類似・再発事故を防ぐための情報活用の仕組みづくりについて、検討したいと思います。

現場の医療安全管理者の方々、医療安全管理に関わる医師、薬剤師、看護師等多くの職種の方にご参加いただき、現場に即した検討ができることを期待しています。

日時：2020年2月23日（日）11：00～16：30 *10：30開場

会場：岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター（矢巾キャンパス）

マルチメディア教育研究棟4階 4-A 講義室

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号

対象：医療安全管理者、医療安全管理を担う者 多職種の皆様のご参加をお待ちしています

★ 自施設における医療安全のための施設外からの情報活用事例や“仕組み”についての資料がありましたら、グループワークでの検討のため、是非ご持参ください

定員：100名（定員になり次第締め切り）

参加登録：医療安全管理者ネットワーク ホームページにて受付

<http://qsh.jp/医療安全管理者ネットワーク/>

参加費：医療の質・安全学会会員(5,000円) 非会員(8,000円)

振込先等：参加費は事前にお振込をお願いします。

振込先は参加登録完了メール「参加受理書」に記載しております。

* 一度納入された参加費は理由の如何を問わず返却致しません。

* 参加登録完了メールにある受付番号を振込人の氏名の前にお付けください。

(受付番号)+(氏名)

備考：参加登録完了メールを印刷してお持ちください。参加受付用紙となります。



◆問合せ・緊急連絡先

一般社団法人医療の質・安全学会 事務局 E-Mail secretary@qsh.jp TEL 03-5803-7828

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-29-1 渡辺ビル 201号室

【当日の緊急連絡先は「090-9814-2176」※当日以外は通じませんことご了承ください。】

プログラム



●開会挨拶

医療の質・安全学会 副理事長 岩手医科大学看護学部長 嶋森 好子先生

●第一部 11:05～14:20 *昼食・休憩含む(昼食無料提供あり)

講演1 AMED 研究からの知見—米国における患者安全と質保証のための医療機器管理体制—

医療の質・安全学会副理事長 岩手医科大学看護学部長 嶋森 好子先生

講演2 医薬品医療機器総合機構(PMDA)からの医療安全情報の提供と活用(仮)

医薬品医療機器総合機構(PMDA) 安全性情報・企画管理部 主任専門員 小池 和央先生

講演3 医療機関における施設外情報活用の取り組み(仮)

岡山大学病院 医療安全管理部 看護師長 森田 幸子先生

●第二部 14:30～16:20

医療安全の施設外情報活用のための具体的な仕組みづくり

名古屋大学医学部附属病院 寺井 美峰子

グループワーク・発表とディスカッション

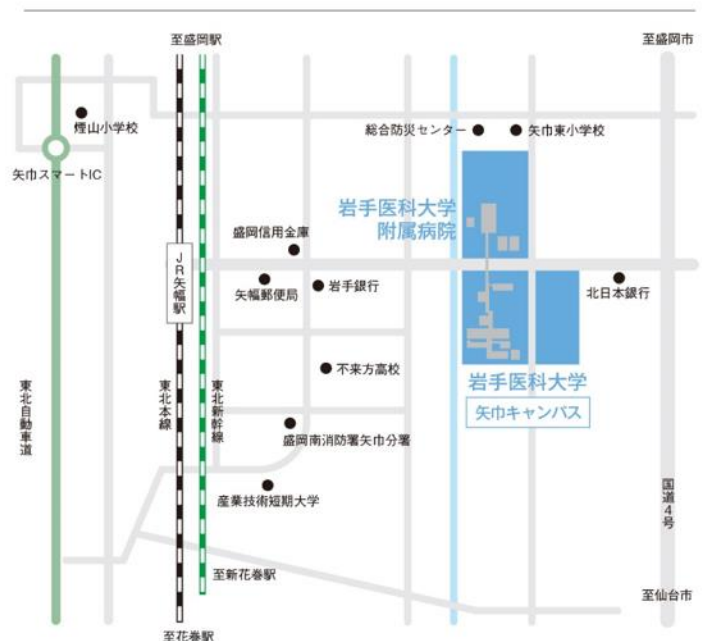
自治医科大学附属さいたま医療センター 亀森 康子

●まとめ・閉会 受講証明書を発行いたします

◆会場アクセス



矢巾キャンパス周辺アクセス



<電車>盛岡駅(約13分)→矢幅駅(徒歩約15分)→矢巾キャンパス(盛岡駅10:09⇒矢幅駅10:20)

花巻駅(約26分)→矢幅駅(徒歩約15分)→矢巾キャンパス

<バス>矢幅駅(約6分)→『医大矢巾キャンパス』バス停下車→岩手医科大学

<車>東北自動車道矢巾スマートICから約12分